

「わたしの音楽 みんなで音楽」

～音楽を形づくっている要素を感受し 自ら広げる音楽の世界～

主題設定の理由

新学習指導要領では、一人ひとりの児童生徒がより主体的に音楽を学ぶことを目指している。子どもたちがその音楽のよさを感じ取り、思考、判断して自分達のイメージにあった表現を導き出そうとするなど、音楽の授業が「思考・判断・表現」する場となることが、いっそう求められている。そして「私が感じた音楽」「私が工夫した音楽」「私が表現した音楽」「私がつくった音楽」など、音楽を通した自己実現として表れたり、「私がいいなと思う音楽」「私が好きな音楽」など、自分の価値観を持って音楽を愛好し、自分の言葉で音楽のよさを説明したりすることが、音楽の学力として求められている。このように子どもたちが音楽を価値あるものとして受け入れたり、目の前の音楽を形づくっている要素について、感じ取ったイメージから工夫を考えたり、お互いのイメージを共有しながら、みんなで音楽を試行錯誤したりする活動は、とても重要である。このような活動を通して、子どもたち一人ひとりに音楽を通して自己表現が高まることを願い、研究を深めてきた。

I 研究の内容

1 研究の具体的内容

(1) 教材研究

- ・音楽科としておさえるべき基礎・基本の分析
- ・教材選択の視点の明確化
- ・講習会（音楽づくり・創作領域）

(2) 授業研究

- ・子どもたちがそれぞれの思いを実現し、音楽的満足感を味わえる授業の工夫
- ・音楽を形づくっている諸要素をどのように知覚・感受させ、よりよい表現につなげていくか
- ・子どもたち一人ひとりの思いや意図を伝え合う活動の充実を図る
- ・小中学校の発達段階に合わせた系統性のある指導について

(3) 明日の授業づくりと教師の技能向上のために

- ・平成27年度東山梨小中学校音楽発表会での合唱実践
- ・教職員音楽発表会出演（合唱「山梨市民歌」「甲州市民の歌」「ほらね、」）
- ・授業に生かせる講習会・学習会 3回実施
- ・毎回の実践研修（合唱）
- ・音楽の実践発表（音楽づくり・創作領域 全員が発表）

2 研究の方法

(1) 教協研究日 (10回 うち統一授業研究日 2回)

- ・松里中学校 武藤 真由美先生 (8月)
- ・大藤小学校 武井 奈穂先生 (2月)

(2) 講習会・学習会

- ・講師：秋山小学校 原田 弘昭先生 「音楽づくりの指導と実践」(6月)
- ・講師：常永小学校 雨宮 宏幸先生 「音楽づくりの指導と実践」(8月)
- ・講師：作曲家 長谷部 匡俊先生

「音楽づくり・創作についての学習会」(10月)

II 成果と課題

今年度は、音楽づくり・創作領域にしぼった講習会・実践報告、通年の合唱曲を決め合唱を行った。

講習会では、音楽づくりを行う際の具体的な手立てを学んだり、教科書の音楽づくり・創作の部分を取り上げ、小・中9年間でどのようにステップアップするのか学んだりしたことで、指導力向上を図ることができた。

実践報告では、創作力くらべに向けての実践を中心に交流し、自分の実践に生かした。しかし、この領域の指導には、まだ困難さがあるという意見も多く、引き続き研究することが必要だ。

研究授業では、事前に全員で検討を行い、授業の流れや内容を共通理解した上で臨むことができた。授業の中で子どもたちは、「わたしの音楽」を組み立てた後、言葉や音・音楽の要素などを交えたやりとりをし、さらに練り上げた「みんなの音楽」へと高めていく姿がみられた。研究討議の中で、実態に即した教材選択の在り方や小中連携を意識した指導について討議が深まり、大変有意義であった。

来年度は、ICTを用いた指導について研究していきたい。現場で実践している先生方を講師として招聘したり、自分たちでICTを用いた実践を行い発表する場を設けたりすることが考えられる。また、音楽づくり・創作領域の指導につながる、リズム打ち・読譜の指導法を互いに紹介し合い、部員同士がお互いに学習できるような研究会にしたい。

III 成果物

- 小学校 第1・2学年 「音を合わせて楽しもう」
大藤小学校 武井 奈穂先生
- 中学校 第3学年 「声部の役割を生かして、表現を工夫しよう」
松里中学校 武藤 真由美先生

(部長 竹川 美和)